

フィットネス
ビス兄の

お悩み相談

現場たたき上げ

#09 text: Kazuyoshi Endo

プロフェッショナルなトレーナーに必要なもの



Profile 遠藤一佳

フィットネスビズ 代表取締役
富士アスレティック&ビジネス専門学校パーソ
ナルトレーナー学科講師
トレーナー→SV→企業フィットネス担当→副
支配人→支配人→営業部長→営業本部長→役員
を歴任後、2007年6月独立。
「フィットネスお悩み相談」他、勇気と元気が得
られるブログ好評執筆中！
URL: <http://www.fitness-biz.net/>



Q 今回のお悩み内容

現在、26才(男性)です。

ジムでアルバイトをしながらパーソナルトレーナーもしています。現状に危機感はあるつつも、「やりがい」も感じており、次の行動に踏み切れずにいます。

A 現場たたき上げの 遠藤からのアドバイス

私も26才で就職するまではフラフラしていたので、大きなことは言えませんが、現在の私の視点から言えば、もっとも安直な選択

をしているように思えます。「やりがい」というのは「成長(強化)」と結びついていることが不可欠ですが、あなたは「楽チンゾーン」に安住しているだけだと思います。

私はプロフェッショナルなトレーナーに必要な能力は、社会人力、専門力、マネジメント力、サービス力の4つと定義していますが、現在のチョイスで身につくのは中途半端な専門力と中途半端なサービス力だけです。

多分、あなたは日本人のフィットネス参加人口もクラブ数も知らなければ、所属クラブの収益構造や会費対象在籍の出し方も、損益分岐点の出し方も何も知らないと思います。このような毎日を過ごしていれば、日増しに競争力を失った人間になっていくことは間違いありません。おそらく、あなたのクラブにも、あなたの先輩にも上記のような指摘をし

てくれる人がいないのでしょうか。

いつも言うことですが、あなたのような中途半端な活動をしているトレーナーは、この業界の将来を真剣に考えている経営者からは相手にされないのが当然なのです。にもかかわらず、そこそこの仕事があったり、チャホヤされたりするのは、各関係者が何も考えていないからです。そういう人達はクラブに歩率収入が入ったり、自分の立場が有利になれば、トレーナーがタバコを吸おうが、茶髪にしようが関係ないのです。

「トレーナー」というスキルはあくまでも部分的なものです。今からでも遅くはないので「マネジメント」という将来的に通用するスキルを習得できる環境に身を置くべきです。さもなければ、あなたの将来は暗く寂しく細くなるのが必然だと思います。